

ハウレーカ!

なるほど、そうか

第37回

ゴルファーのスポーツ意識を深掘り 1

— ゴルフをした理由に迫る —

喜田任紀



スポーツ庁の「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（令和5年）のゴルファーのデータから、彼ら／彼女たちがなぜ運動をしているかを深掘りします。この種の調査ではゴルフ人口に注目が集まりますが、人口そのものが減少している日本でゴルフアーを増やそうとするなら身体を動かすスポーツを選択した理由をまず知ることです。そうしたニーズの中からゴルフを選んだ人たちの特性を見つけて、有効なゴルフ振興策を見つけて、実施する。その結果がゴルフ人口という数字になって現れるわけです。人口減少社会にあつては、ゴルフ人口が増えた、減つたは、ゴルフ業界のゴルフ振興策の実施結果だと捉えるべきではないでしょうか。

ゴルフは選ばれている

設問Q13-1で、あなたがこの1年間に行った運動やスポーツの中で特に多く実施した運動・スポーツや好きな運動・スポーツ（3つまで）を聞いていま

Q13-2-1. あなたがこの1年間に行った運動やスポーツの中で特に多く実施した運動・スポーツや好きな運動・スポーツ（3つまで）

1位				2位				3位			
順位	種目	回答数	参加率	順位	種目	回答数	参加率	順位	種目	回答数	参加率
1	ウォーキング	17,995	45.0%	1	ウォーキング	3,903	9.8%	1	ウォーキング等	1,397	3.5%
2	トレーニング	2,276	5.7%	2	階段昇降	1,918	4.8%	2	体操等	755	1.9%
3	体操	1,560	3.9%	3	体操	1,736	4.3%	3	ランニング等	736	1.8%
4	ランニング等	1,417	3.5%	4	トレーニング等	1,575	3.9%	4	トレーニング等	734	1.8%
5	サイクリング等	1,128	2.8%	5	サイクリング等	1,366	3.4%	5	サイクリング等	657	1.6%
6	エアロビクス等	992	2.5%	6	ランニング等	1,277	3.2%	6	階段昇降等	601	1.5%
7	階段昇降	513	1.3%	7	エアロビクス等	814	2.0%	7	ゴルフ（コースでのラウンド）	518	1.3%
8	ゴルフ（コースでのラウンド）	504	1.3%	8	ゴルフ（コースでのラウンド）	700	1.8%	8	エアロビクス等	413	1.0%
9	テニス・ソフトテニス	425	1.1%	9	ゴルフ（練習場・シミュレーションゴルフ）	540	1.4%	9	ゴルフ（練習場・シミュレーションゴルフ）	397	1.0%
10	ゴルフ（練習場・シミュレーションゴルフ）	377	0.9%	10	登山等	386	1.0%	10	登山等	392	1.0%

※種目名は簡略化しています。報告書を参照してください

す。上位の1位から3位までに選んだスポーツを集計した結果がこの表です。1位にも、2位にも、3位にもゴルフは入っています。ドンダケー！ゴルフが選ばれているかが分かります。全体での順位もゴルフはコースが8位で練習場が9位でしたが、第一にゴルフ（コース）を選んでいる人が1・3%、推計で119万人がまずゴルフでしょ！と選んでいます。二番目にゴルフを選んだ人は1・8%です。三番目がゴルフだという人は1・3%でした。ゴルフコースの参加率は5・5%でしたから上位3位までにゴルフを選択したのはゴルフアーの78%、4人に3人はゴルフ大好きな人たちです。なんとも頼もしい数字です。ゴルフ業界は、この素晴らしいゴルフアーというコンシュー

※アンケート調査に必要なサンプル数：母集団（ゴルフ人口）の規模が600万人として、許容誤差5%、信頼度95%の場合に必要なサンプル数は385。母集団規模100万人では同じ条件で384です



マのウォンツを知り、これに添えることしか対策はありません。また22%のたまにゴルフをする人をもっと増やす試みが求められています。

ところで、このサンプル数は全体を把握するに十分な条件を満たしていません※。本当かと疑う前に、必要なことはゴルフ振興の目標値（たぶんKPI）としてこの数字を有効活用することです。ゴルフ振興を謡うなら、

ゴルフアーはゴルフに何を求めているのか

ゴルフがなぜ選ばれているのか？ ゴルフが良いものだからというような観念論的な評価はもうやめましょう。そもそもゴルフが良いから選ばれているわけですから、ゴルフのどんなと

成果評価をする数字を持たない限り、絵に描いた餅となってしまうでしょう。

ころを評価しているかを具体的に業界関係者が知ることで。そうではなくては対策は浮かばないのではないではないでしょうか。では何を求めているのか？

昨年と同じようなグラフを紹介しました。今更ながらですが、1番は健康のためで、2番目が体力的増進・維持で、3番目が楽しみ・気晴らしです。もちろん自己の記録や能力向上を挙げた人も13%おり、推計では68万3000人います。この数字、ン？と思いませんか、WHS（ワールドハンディキャップシステム）のHDCP・INDEXを取得（登録中ではありません）している人数に近い。

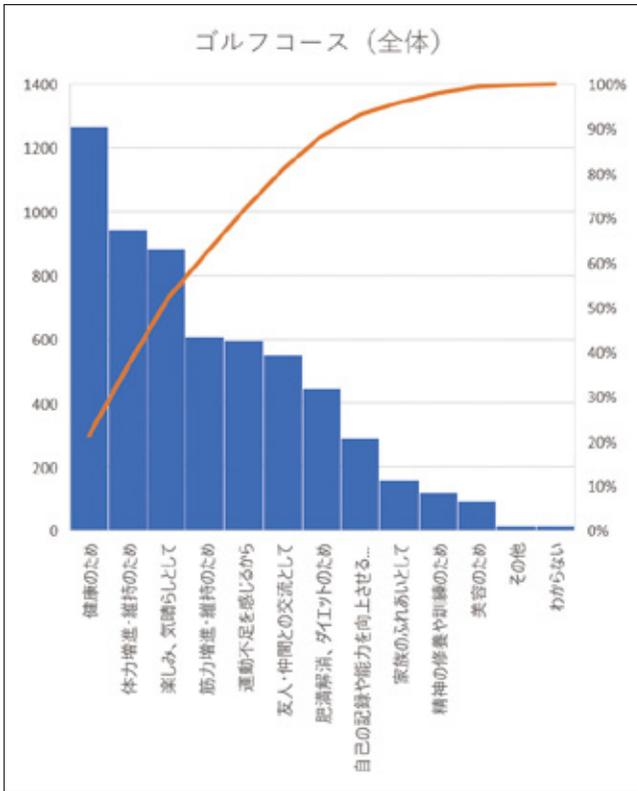
このグラフで、ゴルフそのものが持つ機能であり効用は説明されているわけですが、では、ゴルフ場ではどんな対応を行っていますか？ほとんどのゴルフ場では競技情報は掲示板に貼りだされていますが、ゴルフアーがゴルフに求めている健康や体力、楽しみ方、家族とのふれあい、友人・仲間との交流。美容

やダイエット情報などの提供はされていますか？ 1割の競技志向の人たちの情報しか掲示されていない掲示板は、残り9割のゴルフアーにとっては関心のないスペースと同じです。もっとゴルフの素晴らしさを知ってもらおう、体感してもらおうことがゴルフを継続してもらおうことになり、未経験者をゴルフ場に誘ってこれることにつながるのではないのでしょうか。

とはいってもゴルフ場は多様で、すべてのゴルフ場が同じ条件ではありません。ではどうすればいいか、利用されるゴルフアーをもっと理解するしか方法はないと思います。そのためにマーケティングという手法があるわけですが、まず比較対象となる平均的なゴルフアーの志向を知ることです。平均像と比較して、自分たちのゴルフ場を利用されるゴルフアーの違いを知れば、そのゴルフ場独特のサービスが実現されるはず。ゴルフアーも一様ではありません。

平均的なゴルファーの志向

先ほどのグラフを人数の多い順に処理したパレート図が次のグラフです。平均的なゴルファーのゴルフに求めている内容はこうなっています。サービスマンに限らず製造業の製品についても、上位の項目（課題）を解決することで顧客の満足度は向上します。ゴルフコースでまず解決すべきは、ゴルファーはこう



したゴルフの効用を求めて来場されるわけですから、それをサポートするゴルフ場はゴルファーが楽しめる環境整備に努めるべきです。こうした分析を通じて、ゴルフ場に求められる環境整備とはコースコンディションだけではないことがお分かりいただけると思います。
男女差についても分析（単に比較しただけですが）しましたが、ほとんど差がありません。

Q16-1-1. この1年間で運動やスポーツを週に1日以上（年51日～100日）実施した理由／スポーツを実施した理由 (MA)

ゴルフコース

	計	健康のため	体力増進・維持のため	筋力増進・維持のため	楽しみ、気晴らしとして	運動不足を感じるから	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	家族のふれあいとして	友人・仲間との交流として	美容のため	肥満解消、ダイエットのため	その他	わからない
全体	100.0%	57.7%	42.9%	27.7%	40.3%	27.1%	5.4%	13.2%	7.1%	25.0%	4.2%	20.3%	0.8%	0.7%
男性	100.0%	57.5%	42.3%	27.0%	39.4%	27.1%	5.4%	13.4%	6.4%	24.7%	2.4%	19.7%	0.7%	0.6%
女性	100.0%	59.0%	46.5%	31.8%	45.0%	27.5%	5.5%	11.6%	11.6%	27.2%	14.7%	23.5%	0.9%	1.2%
10代	100.0%	44.4%	44.4%	33.3%	44.4%	44.4%	22.2%	22.2%	33.3%	44.4%	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%
20代	100.0%	61.4%	46.4%	37.9%	41.2%	32.7%	10.5%	16.3%	9.8%	20.3%	15.7%	26.1%	0.0%	0.0%
30代	100.0%	44.5%	36.0%	28.0%	33.2%	24.2%	8.5%	10.0%	9.0%	17.1%	8.5%	15.2%	0.0%	0.5%
40代	100.0%	45.9%	34.3%	24.0%	32.0%	24.0%	6.5%	13.6%	7.4%	16.0%	3.3%	18.3%	0.6%	0.6%
50代	100.0%	51.2%	36.8%	21.1%	37.8%	25.2%	4.1%	12.9%	6.5%	18.3%	3.4%	21.3%	0.9%	1.1%
60代	100.0%	59.5%	43.9%	25.4%	41.7%	27.3%	4.2%	13.3%	5.3%	26.7%	2.5%	21.6%	1.5%	1.1%
70代	100.0%	73.2%	54.4%	34.7%	48.5%	29.9%	3.8%	13.1%	7.3%	39.1%	1.6%	19.5%	0.5%	0.5%
男性10代	100.0%	33.3%	50.0%	33.3%	50.0%	50.0%	16.7%	16.7%	33.3%	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
男性20代	100.0%	59.3%	44.1%	39.0%	38.1%	28.8%	8.5%	17.8%	9.3%	22.0%	10.2%	21.2%	0.0%	0.0%
男性30代	100.0%	46.7%	37.8%	28.9%	34.4%	25.0%	9.4%	10.6%	9.4%	17.8%	6.7%	13.9%	0.0%	0.6%
男性40代	100.0%	45.1%	34.6%	23.7%	32.5%	23.1%	6.4%	13.6%	7.5%	16.3%	2.7%	17.3%	0.3%	0.7%
男性50代	100.0%	51.0%	36.0%	21.2%	36.2%	24.9%	4.4%	13.3%	4.7%	17.7%	1.2%	21.2%	1.0%	1.0%
男性60代	100.0%	61.0%	44.2%	24.8%	40.2%	28.8%	4.2%	13.4%	4.2%	25.8%	1.2%	22.3%	1.5%	0.7%
男性70代	100.0%	72.0%	52.5%	32.3%	48.2%	30.2%	3.9%	13.4%	6.7%	38.2%	0.2%	19.3%	0.7%	0.4%
女性10代	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
女性20代	100.0%	68.6%	54.3%	34.3%	51.4%	45.7%	17.1%	11.4%	11.4%	14.3%	34.3%	42.9%	0.0%	0.0%
女性30代	100.0%	32.3%	25.8%	22.6%	25.8%	19.4%	3.2%	6.5%	6.5%	12.9%	19.4%	22.6%	0.0%	0.0%
女性40代	100.0%	51.2%	32.6%	25.6%	27.9%	30.2%	7.0%	14.0%	7.0%	14.0%	7.0%	25.6%	2.3%	0.0%
女性50代	100.0%	52.5%	42.4%	20.3%	49.2%	27.1%	1.7%	10.2%	18.6%	22.0%	18.6%	22.0%	0.0%	1.7%
女性60代	100.0%	50.7%	42.0%	29.0%	50.7%	18.8%	4.3%	13.0%	11.6%	31.9%	10.1%	17.4%	1.4%	2.9%
女性70代	100.0%	79.3%	64.4%	47.1%	50.6%	28.7%	3.4%	11.5%	10.3%	43.7%	9.2%	20.7%	0.0%	1.1%

例えばダイエットですが、順位は男女で同じ7位ですし、全体に対する比率もほぼ同じです。確かに美容のため項目では女性で比率は高くなりますがそれでも8位で、14・7%です。ゴルフはジェンダー差がないスポーツなんだなと思います。

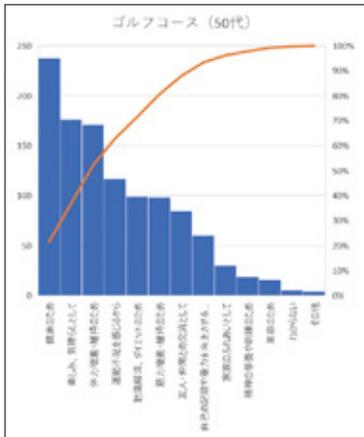
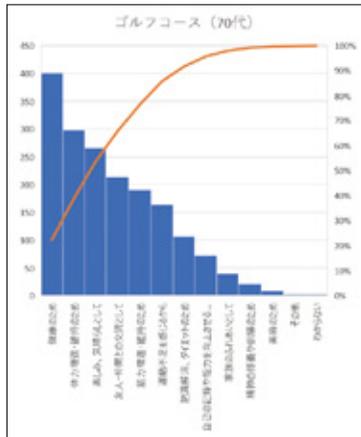
年齢層別ではどうでしょう。50頁の表は性年齢層別に構成比をまとめたもので、上位20%以上の数値を区別しています。10代の特徴を挙げるなら友人・仲間との交流が高いようです。10代はサンプル数が少ないこともあり、この世代の傾向が気になるようであれば改めて調査が必要です。

年齢層別では3パターンくらいに分けられます。30〜50代の年齢層と20代と60代、そして70代の三つです。まず30〜50代ですが健康のためが多いのですが、**体力増進・維持と筋力**に関する項目で比率が高く、そして**楽しみ・気晴らし**で同じ程度の比率を示しています。楽しみ・気晴らしを分けたのは求めて

いる内容に違いがあるためです。フィジカルな面とメンタルな面へのウォンツ（敢えて目的が明確だと判断して）があります。

20代と60代は健康のためが多いのですが、フィジカル部分での**体力増進・維持とメンタル面での楽しみ・気晴らし**で高いという傾向があります。70代は、20代と60代の傾向に加えて**友人・仲間との交流**の比率が高くなっています。ゴルフアーがゴルフに求めているものを年代別に分けることで違いがあることがお分かりいただけると思います。嗚呼面倒と健康と交流でしよと大雑把に対処するのはなくて、メリハリをつけた対策を打つことで、提供されるサービスなどのきめ細かさが目立って評価されやすいと思います。また具体的な対策につながるはずで、効果測定もやりやすいと思います。サービスク改善は一度失敗（効果がなかった）したから止めるのではなくて、問題を掘り下げて次のサービスにつなげることです。

比較のために50代と70代のパレート図を載せておきました。70代は健康意識が高く、そして友人や友達との交流を強く求めています。倶楽部本来の姿をココに見るということですかね。最後に、女性の20代の特徴的な点は**肥満解消・ダイエット**のためにゴルフを選んだという人



がこの世代の40%を超えているという点です。ゴルフエクササイズという視点も必要かなと思います。それと最近、chocoZAPというコンビ二なジムが気になっていきます。生活の中のちょっとした隙間時間をうまく活用できる仕組みというか発想はゴルフ場でも導入できるのではないかと強く思います。今もやられているかどうか分かりませんがシャトルレーゼ系のゴルフ場でクラブバスを待つ時間にケーキを提供してお茶の時間を設けていましたが、手持無沙汰な時間を有効に活用できる場やサービスが、続けるゴルフのきっかけを作れば、ゴルフアーの定着にも効果があるのではと思います。

次回以降で、ゴルフを始めたい理由、ゴルフの機会が増えた理由、ゴルフではないにしてもスポーツができた理由を同じようにちよこツツとだけ深掘りして紹介したいと思っています。